

平成 18 年度環境技術実証モデル事業検討会
ヒートアイランド対策技術ワーキンググループ会合（第 4 回）
議事要旨

1. 日時：平成 19 年 3 月 22 日（木） 10：00～11:45
2. 場所：砂防会館 別館 3 階 立山
3. 議題
 - (1) 平成 18 年度ヒートアイランド対策技術（建築物外皮による空調負荷低減技術）
実証試験結果報告書の検討
 - (2) 実証試験要領の見直しの方向性について
 - (3) 今後の検討スケジュールについて（予定）
 - (4) その他
4. 出席検討員 佐土原聡（座長）、足永靖信、前川佳之
欠席検討員 石野久彌、下田吉之、森川泰成
5. 配付資料
 - 資料 1 ヒートアイランド対策技術実証試験結果報告書（別表参照）
 - 資料 2 ヒートアイランド対策技術実証試験結果一覧（非公開資料）
 - 資料 3 拡大ワーキンググループの実施報告
 - 資料 4 実証試験要領の見直しの方向性について
 - 資料 5 今後の予定（案）
 - 参考資料 1 ヒートアイランド対策技術（建築物外皮による空調負荷低減技術）
実証試験要領

（別表：資料一覧）

資料番号	実証技術	環境技術開発者
資料 1-1	スコッチティント シルバー 1 8 AR・RE18SIAR	住友スリーエム 株式会社
資料 1-2	スコッチティント アンバー 3 5 LE・LE35AMAR	
資料 1-3	マルチレイヤー ナノ 7 0・Nano70	
資料 1-4	アキレス サーマオンクリア	アキレス株式会社
資料 1-5	アキレス Neo サーマオンクリア	
資料 1-6	アキレス Neo サーマオンクリア PET-100	
資料 1-7	ヒートカット IR - 50HD	リンテック 株式会社
資料 1-8	ルミクール 1015UH	
資料 1-9	WINCOS HCN - 70	
資料 1-10	RIVEX IRCCL80	リケンテクノス 株式会社
資料 1-11	RIVEX CR263C	
資料 1-12	RIVEX SS50SRL	
資料 1-13	MADICO SRS-220XSR	三晶株式会社
資料 1-14	MADICO CK-35XSR	
資料 1-15	SANSHO TC-75XSR	
資料 1-16	ハニタウインドウフィルム SG06M	株式会社 PVJ
資料 1-17	ハニタウインドウフィルム SZ02M	
資料 1-18	高透明熱線反射・断熱フィルム「レフテル」ZC05G	NI 帝人商事 株式会社
資料 1-19	高透明熱線反射・断熱フィルム「レフテル」WH03	
資料 1-20	高透明熱線反射・断熱フィルム「レフテル」ZH05G	
資料 1-21	SolarGard LX70	ベカルトジャパン 株式会社
資料 1-22	SolarGard Sterling 20	

6. 議事

会議は公開で行われた。

(1) 平成18年度ヒートアイランド対策技術(建築物外皮による空調負荷低減技術)

実証試験結果報告書の検討

財団法人建材試験センターより、資料1(資料1-1~1-22)、資料2(非公開資料)に基づき説明。

- ・実際に報告書を読むユーザーの立場になり、主要な計算条件(どのような建物を想定したのか、床面積、貼付ガラス面積など)については実証試験要領を見なくても分かるよう記載すべきであるとの指摘があった。
- ・実証試験要領では実証項目であった冬季の暖房負荷低減効果については、参考項目として取り扱うことが了承された。
- ・外部環境への影響(日射反射量、対流熱伝達量)については、算出結果の物理的解釈が困難であるとのことより、実証試験結果報告書に記載するかどうかは、環境省にて検討することとなった。
- ・実証試験結果報告書については、指摘事項を修正の上、ワーキンググループとして了承し、今後環境省で承認・公表の手続きに入ることが確認された。

(2) 実証試験要領の見直しの方向性について

事務局から、資料3に基づき拡大ワーキンググループの実施報告、資料4に基づき、実証試験要領の見直しの方向性について説明。

- ・日射反射率の高いフィルムを貼付することに起因する照明負荷の増加について、照明をON・OFFする際の具体的な基準を設定することは困難であり、技術毎に照明からの熱負荷を変更しては、実証結果の比較が困難になるのではないかと指摘があった。
- ・冬季の暖房負荷低減効果については、夏季の冷房負荷低減効果の算出期間と合わせ、暖房期間全体の累積値を計算・公表すべきとの指摘があり、LESCOM 開発者である東京理科大学 武田教授に確認の上、検討することとなった。
- ・住宅、オフィスのみではなく、集合住宅を対象とした数値計算も検討できないかとの提案があった。

(3) 今後の検討スケジュールについて(予定)

事務局から、資料5に基づき説明。

(文責：環境省水・大気環境局環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり)